

## 第8章

### 目標値の設定



# 1. 目標値の検証

## 1.1 当初計画の目標値

当初計画では、①誘導施策による居住誘導に関する目標値、②公共施設の集約・複合化に関する目標値、③公共交通の利用者に関する目標値の3つを設定し、④目標値を達成することによる期待される効果を設定していました。

①誘導施策による居住誘導に関する目標値	
目標値①	設定の考え方
誘導施策による人口密度の維持	現在の商業などの生活サービス施設やバスなどの公共交通を維持するためには、周辺の人口密度を維持することが必要です。そこで、誘導施策により居住誘導区域内へ人口を誘導することによって、将来においても居住誘導区域内の人口密度を維持することを目標とします。
平成27(2015)年： 居住誘導区域内の人口密度 38.1人/ha	令和21(2039)年： 居住誘導区域内の人口密度 38.1人/ha
②公共施設の集約・複合化に関する目標値	
目標値②	設定の考え方
公共施設の集約化・複合化による1人当たりの延床面積の削減と公共施設の利用者増加	増加傾向である公共施設の維持・管理費の削減のためには、公共施設の集約化・複合化を行う必要があります。そこで、公共施設の適正化を図ることによって、1人当たりの公共施設の延床面積を削減することを目標とし、さらに、公共施設の集約化・複合化により施設の利便性が向上し、利用者が増えることを目標値とします。
平成28(2016)年： 1人当たりの公共施設の延床面積 4.01㎡	令和21(2039)年： 1人当たりの公共施設の延床面積 3.42㎡
平成28(2016)年：公共施設の利用割合 始良市役所本庁：32.6% 加治木総合支所：17.4% 蒲生総合支所：7.7%	令和21(2039)年：公共施設の利用割合 始良市役所本庁：60% 加治木支所：50% 蒲生支所：30%
③公共交通の利用者に関する目標値	
目標値③	設定の考え方
公共交通人口のカバー率増加とコミュニティバスの利用者増加	公共交通を維持するためには、居住の誘導によって一定の人口密度を保つとともに、公共交通を歩いて利用できるまちづくりが必要です。そこで、バス路線の見直しによって、バス停から徒歩圏内の人口カバー率とコミュニティバスの利用者を増加することを目標値とします。
平成27(2015)年： バス停から300mの人口カバー率 73.21%	令和21(2039)年： バス停から300mの人口カバー率 85.53%
平成27(2015)年： コミュニティバスの利用者数 39,671人	令和21(2039)年： コミュニティバスの利用者数 46,346人

はじめに

第1章 現状と将来見通しにおける都市構造上の課題

第2章 立地適正化計画におけるまちづくりの方針

第3章 居住誘導区域の設定

第4章 都市機能誘導区域・誘導施設の設定

第5章 設定 始良市の独自区域

第6章 誘導施策の設定

第7章 防災指針

第8章 目標値の設定

第9章 届出制度

参考資料

## ④目標値を達成することによる期待される効果

目標値④	設定の考え方
住みやすさ満足度の向上	人口密度の維持によるコミュニティの確保や、都市機能や公共交通の誘導・維持により利便性が向上し、市民の「住みやすさ満足度」が高まることを期待される効果とします。

平成 29(2017)年  
市民アンケート結果

26.8%

令和 21(2039)年  
市民アンケート目標値

40%

問 あなたは、始良市の「住みやすさ」についてどう感じますか。

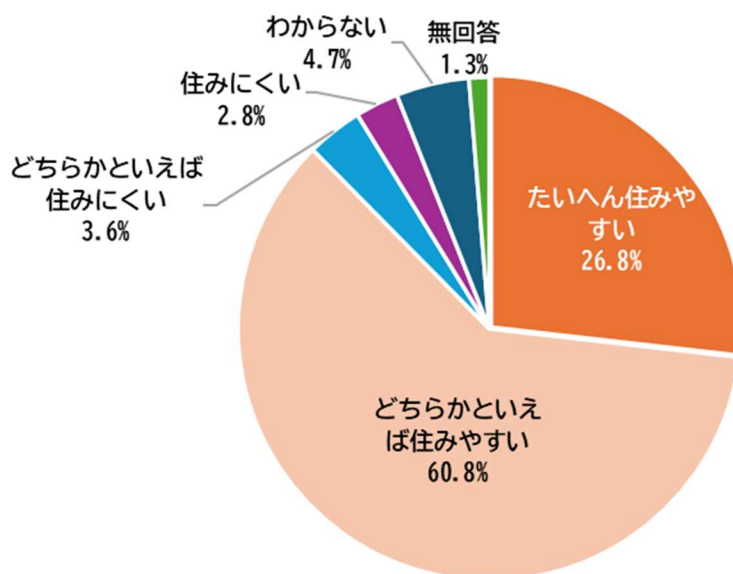


図 立地適正化計画の市民アンケート調査結果(平成29年)

## 1.2 現状値の整理

当初計画の3つの目標に対する現状の値は以下のとおりです。

- 目標値① 誘導施策による居住誘導区域内の人口密度は、目標値を上回っています。
- 目標値② 公共施設の集約化・複合化による1人当たりの延床面積の削減については、現在、始良市役所本庁や加治木支所の機能の複合化を進めていますが、他の公共施設での解体が進められていないため、当初計画の数値を若干上回っています。
- 目標値③ 公共交通人口のカバー率とコミュニティバスの利用者は、カバー率は上昇している一方で、コミュニティバスの利用者は減少しています。

目標内容	当初計画 平成31 (2019)年	改定時点 令和7 (2025)年	目標値 令和21 (2039)年	評価
<b>目標値①</b>				
誘導施策による人口密度の維持				
・居住誘導区域内の人口密度	38.1人/ha	39.9人/ha	38.1人/ha	○
<b>目標値②</b>				
公共施設の集約化・複合化による1人当たりの延床面積の削減と公共施設の利用者の増加				
・1人当たりの延床面積	4.01㎡	4.07㎡	3.42㎡	▲
・公共施設の利用者の利用率				
始良市役所本庁	32.60%	-	60%	-
加治木支所	17.40%	-	50%	-
蒲生支所	7.70%	-	30%	-
<b>目標値③</b>				
公共交通人口のカバー率増加とコミュニティバスの利用者増加				
・公共交通人口のカバー率	73.21%	77.69%	85.53%	○
・コミュニティバスの利用者	39,671人	36,817人	46,346人	△

また、目標値を達成することにより期待される効果の現状値は、以下のとおりです。

目標内容	当初計画 平成31 (2019)年	改定時点 令和7 (2025)年	目標値 令和21 (2039)年	評価
住みやすさの意識				
「住みやすい」との回答	26.8%	50.9%	40%	○

※○：目標年次の目標値を達成

△：計画策定時点よりも改善されているが、施策の継続が必要

▲：計画策定時点よりも状況が低下、施策の継続や新たな施策が必要

## ①誘導施策による居住誘導に関する目標値の検証

居住誘導区域内人口については、宅地開発等により増加がみられます。  
また、人口密度も増加しており、当初計画の目標値を上回っています。

表 目標値①の居住誘導に関する目標値(当初)

項目	面積(ha)	当初計画 平成31 (2019)年		改定時点 令和7 (2025)年		目標年次 令和21 (2039)年		備考
		人口 人口密度	人口の割合	人口 人口密度	人口の割合	人口 人口密度	人口の割合	
始良市全体	23,125	75,173人 3.3人/ha	100%	76,348人 3.3人/ha	100%	73,131人 3.2人/ha	100%	
居住誘導区域内	1,439	54,781人 38.1人/ha	72.9%	57,398人 39.9人/ha	75.2%	54,781人 38.1人/ha	74.9%	平成27(2015)年の 人口(人口維持)
居住誘導区域外	21,686	20,392人 0.9人/ha	27.1%	18,950人 0.9人/ha	24.8%	18,350人 0.8人/ha	25.1%	社人研推計データの 人口

資料：目標年次人口 国立社会保障・人口問題研究所、令和元年時点における推計値

②公共施設の集約・複合化に関する目標値の検証

●公共施設1人当たりの延べ床面積

改定時点である令和7(2025)年における公共施設の1人当たりの延床面積は4.07㎡であり、当初計画の策定時点の延床面積4.01㎡をわずかに上回っています。

始良市役所本庁と加治木支所の整備は完了し、公共施設の集約を進めているところですが、全体的な建築物の延床面積は増加しています。平成29(2017)年と比較して、学校教育施設や供給処理施設では延床面積は減少していますが、市営住宅や行政系の施設、その他では増加しています。今後、さらに、公共施設の集約化を進めていく必要があります。

表 目標値②公共施設の集約・複合化に関する現況

当初計画			改定時点			目標年次		
始良市が保有する建築物の延床面積(㎡)	平成31(2019)年人口(人)	公共施設の1人当たりの延べ床面積(㎡)	始良市が保有する建築物の延床面積(㎡)	令和7(2025)年人口(人)	公共施設の1人当たりの延べ床面積(㎡)	管理計画における削減後の目標面積(㎡)	令和21(2039)年目標人口(人)	公共施設の1人当たりの延べ床面積(㎡)
301,610	75,173	4.01	310,811	76,348	4.07	250,000	73,131	3.42

表 公共公益施設延床面積の推移

施設用途区分	平成29(2017)年3月		令和3(2021)年3月		増減 延床面積(㎡)
	延床面積(㎡)	構成比(%)	延床面積(㎡)	構成比(%)	
学校教育施設	109,962.80	36.5%	108,738.39	35.0%	△1,224.41
市営住宅	79,634.60	26.4%	86,384.84	27.8%	6,750.24
行政系施設	21,254.48	7.0%	22,908.37	7.4%	1,653.89
スポーツ・レクリエーション系施設	20,142.34	6.7%	20,319.62	6.5%	177.28
市民文化系施設	18,247.67	6.1%	18,258.57	5.9%	10.9
供給処理施設	12,746.50	4.2%	11,131.45	3.6%	△1,615.05
社会教育系施設	10,655.95	3.5%	10,770.30	3.5%	114.35
産業系施設	7,494.64	2.5%	7,217.62	2.2%	△277.02
保健・福祉施設	7,456.11	2.5%	7,456.11	2.4%	0.00
その他	6,251.62	2.1%	9,835.21	3.2%	3,583.59
子育て支援施設	5,499.11	1.8%	5,666.05	1.8%	166.94
公園	1,870.97	0.6%	1,840.04	0.6%	△30.93
医療施設	393.22	0.1%	284.92	0.1%	△108.30
合計	301,610.01	100%	310,811.49	100%	9,201.48

資料：始良市公共施設等総合管理計画(R4)

●庁舎・支所の利用率

始良市役所本庁は令和6(2024)年4月、加治木支所は令和6(2024)年11月に建て替えが完了したこともあり、また、蒲生支所は現在建設中であるため、利用率の調査は次回改定時に行います。

はじめに  
第1章 現状と将来見通しにおける都市構造上の課題  
第2章 立地適正化計画におけるまちづくりの方針  
第3章 居住誘導区域の設定  
第4章 都市機能誘導区域・誘導施設の設定  
第5章 設定 始良市の独自区域の設定  
第6章 誘導施策の設定  
第7章 防災指針  
第8章 目標値の設定  
第9章 届出制度  
参考資料

### ③公共交通の利用者に関する目標値の検証

#### ●バス路線の人口カバー率

バス停から300m<sup>※39</sup>の人口カバー率は、改定時点で77.69%であり、当初計画の策定時の73.21%と比較して上昇しています。目標値である85.53%の達成に向けて、引き続き、公共交通施策に関する取組を進める必要があります。

表 バス路線のカバー率(当初計画)

都市計画区域内人口	現在のバス停から300m圏内の人口	当初計画時点でのカバー率
71,339人	52,229人	73.21%

資料：H31年当初計画

表 バス路線のカバー率(現状値)

都市計画区域内人口	現在のバス停から300m圏内の人口	現在のカバー率
70,931人	55,103人	77.69%

資料：都市計画区域内人口 都市計画基礎調査(R4)

#### ●コミュニティバスの利用者数

コミュニティバスの利用者数は、改定時点では36,817人であり、当初計画策定時よりも減少しています。引き続き、自家用車からコミュニティバス等公共交通への利用促進を進める必要があります。

表 コミュニティバス利用者に関する目標値に関する推移

	当初計画 平成31(2019)年	改定時点 令和7(2025)年	目標年次 令和21(2039)年
コミュニティバス利用者	39,671人	36,817人	46,346人

資料：コミュニティバス利用者 始良市統計書 ただし、R7はR5年の統計値

※39 無理なく歩ける距離として、「90%の人が抵抗を感じない徒歩距離が300m」という調査結果を使用しています。  
資料：バスサービスハンドブック、土木学会

④目標値を達成することによる期待される効果の検証

本計画の目標項目である居住誘導区域内に人口が集約されること、また、都市機能や公共交通の利便性の向上が図られることで、住みやすさの向上につながると考えられます。目標値を達成することによって期待される効果は、市民の住みやすさの満足度が高まることとして、以下のとおり目標値を設定していました。

本計画において、意識調査を行ったところ、「住みやすい」の回答率は目標値を10ポイント以上、上回っています。

表 住みやすさの意識に関する回答率と目標値

目標内容	当初計画 平成31(2019)年	改定時点 令和7(2025)年	目標値 令和21(2039)年
住みやすさの意識			
「住みやすい」との回答	26.8%	50.9%	40%

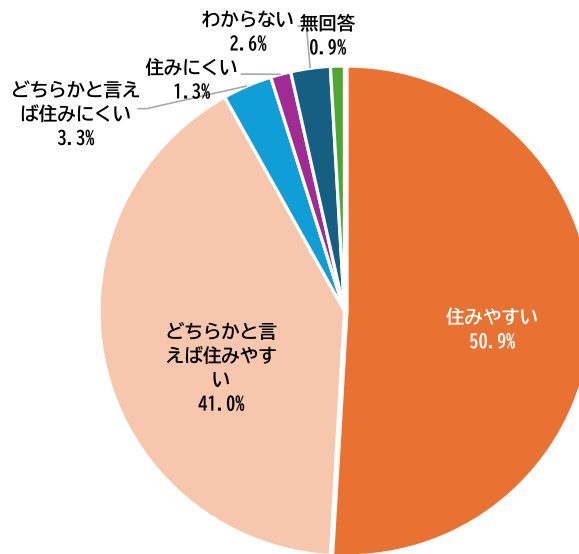


図 立地適正化計画の市民アンケート調査結果(令和6年)

## 2. 目標値の設定

### 2.1 目標値の設定

#### ①誘導施策による居住誘導に関する目標値の設定

商業などの生活サービス施設や公共交通の維持など行政サービスを維持していくためには、周辺に一定の人口密度を維持する必要があります。

現在の居住誘導区域内の人口密度は39.9人/haであり、目標値を達成している状況ですが、将来的には本市においても人口が減少することが想定されるため、本見直しでは当初の目標値の38.1人/haを維持することを目標値とします。

表 目標値① 居住誘導区域内人口密度

目標内容	当初計画 平成31(2019)年 現況値	改定時点 令和7(2025)年 現況値	目標値 令和21(2039)年 目標値	備考
居住誘導区域内 人口密度	38.1人/ha	39.9人/ha	38.1人/ha	当初計画時点の 目標値を維持

資料：目標年次人口 国立社会保障・人口問題研究所、令和7年(2025)時点における現況値算出時の居住誘導区域内面積は、見直し前の面積とする。

## ②公共施設の集約・複合化に関する目標値の設定

### ●公共施設1人当たりの延べ床面積

本市の公共施設の維持・管理費は増加傾向にあります。現在、築年数が30年以上の公共施設が、全体の50%を占めることから、公共施設の維持管理費はさらに増加することが推測されます。

そこで、令和21(2039)年には当初計画と同様に、総面積250,000㎡まで削減することを目標値とし、1人当たりの延べ床面積も3.42㎡/人とします。公共施設については、引き続き、機能集約を進めます。

表 公共施設の1人当たりの延べ床面積

改定時点 令和7(2025)年		目標年次 令和21(2039)年	
始良市が保有する 建築物の延べ床面積 (㎡)	公共施設の1人当 たりの延べ床面積 (㎡)	始良市が保有する 建築物の延べ床面積 (㎡)	公共施設の1人当 たりの延べ床面積 (㎡)
310,811	4.07	250,000	3.42

資料：始良市公共施設等総合管理計画(R4)

### ●公共施設の利用割合

本庁・支所の利用率は、引き続き以下の利用率を目標値とします。加治木支所は、建替えに伴う周辺事業が終了し、利用者の増加による拠点周辺の活性化を進めているところです。

今後は、現在建設中の蒲生支所に公共施設の機能集約・複合化することで、施設の機能が充実し利用者が増えることが見込まれ、まちの賑わいが創出されることが期待されます。

表 本庁・支所の利用率

	始良市役所本庁	加治木支所	蒲生支所
目標値 令和21(2039)年	60%	50%	30%

### ③公共交通の利用者に関する目標値の設定

公共交通を維持するためには、居住の誘導によって一定の人口密度を保つとともに、公共交通を利用しながら、歩いて暮らせるまちづくりが必要です。

#### ●公共交通の人口カバー率の設定

本市では、平成31(2019)年の当初計画の策定以降、公共交通サービスの向上を目的とした「始良市地域公共交通計画」において、公共交通の人口カバー率をバス停から500m圏内の人口と設定し、地域公共交通の人口カバー率の目標値も令和8(2026)年度に98%としています。本計画の目標値も同様とし、バス停から500m圏域内の人口カバー率の目標値を98%と設定します。

なお、令和3(2021)年の公共交通の人口カバー率は、始良市地域公共交通計画での現況によると95.9%となっており、引き続き、公共交通の維持運営に関する取組が必要となります。

表 地域公共交通の人口カバー率

数値指標	現況値 令和3(2021)年度	目標値 令和8(2026)年度
地域公共交通の人口カバー率	95.9%	98% (増加)

資料：始良市地域公共交通計画(R4)

※地域公共交通の人口カバー率は、路線バス、コミュニティバス、デマンドタクシー含む

表 バス停から500m圏人口カバー率に関する目標値の推移

年度	住民基本台帳人口	都市計画区域人口	バス停500m圏人口	カバー率
R2	77,106	73,507	71,145	92.3%
R3	77,315	73,836	71,379	92.3%
R4	77,507	74,146	71,542	92.3%
R5	77,734	74,470	71,846	92.4%
R6	77,778	74,645	71,936	92.5%

※カバー率(%) = バス停500m圏人口 / 住民基本台帳人口 × 100

※都市計画区域人口、バス停500m圏人口は、住民基本台帳をベースに推計

### ●コミュニティバス等の利用者数

路線バスやコミュニティバスの利用者が減少しつつあり、将来の運営状況によっては、新たに一部の路線が廃止されることも予想されます。本市ではバス路線の廃止による新たな公共交通の対応策として、デマンドタクシーの導入が進められているところです。

今後、バス路線やコミュニティバス路線で廃止になった路線について、デマンドタクシーの導入による対応策も想定されることから、目標の項目として、コミュニティバスやデマンドタクシー利用者を含めた利用者数、すなわち、コミュニティバス等の利用者数を目標とします。

そこで、コミュニティバス等の利用者数の目標値については、現在のコミュニティバスとデマンドタクシー利用者数の合計利用者数を維持していくこととします。よって、目標値は、現在のコミュニティバスの利用者数36,817人とデマンドタクシー利用者数5,116人の合計利用者数41,933人とします。

表 コミュニティバス等利用者数

利用者数	改定時点 令和7(2025)年	目標年次 令和21(2039)年
コミュニティバス	36,817人	41,933人
デマンドタクシー	5,116人	

資料：コミュニティバス、デマンドタクシー利用者 始良市統計書 ただし、R7はR5年度の統計値

### ④目標値を達成することによる期待される効果の設定

立地適正化計画の目標値を達成することで市民の住みやすさ向上につながるとして、令和21(2039)年の住みやすさの満足度(「たいへん住みやすい」)を40%と設定しており、目標値を達成しました。

今後も引き続き、目標値を達成し、市民の住みやすさにつながるよう施策を進めていく必要があります。

第3期始良市総合戦略では、「住みやすいまちであると感じている」(「住みやすい」+「まあ住みやすい」との回答)とする回答率の目標値が、90%(令和21(2039)年)となっています。そのため、目標年次における指標と目標値について、以下のとおり設定します。

表 住みやすいまちであると感じている市民の割合

期待される効果	当初計画 平成31(2019)年	改定時点 令和7(2025)年	目標値 令和21(2039)年
住みやすいまちであると感じている (「住みやすい」+「まあ住みやすい」との回答)	—	91.9%	90%以上を維持

## 2.2 目標値の設定の整理

以下のとおり、目標年次である令和21(2039)年の目標値を設定します。

### ①誘導施策による居住誘導に関する目標値

居住誘導区域内の人口密度を今後も維持することを目標とします。

項目	当初計画 平成 31(2019)年 現況値	改定時点 令和 7(2025)年 現況値	目標年次 令和 21(2039)年 目標値
居住誘導区域内人口密度	38.1 人/ha	39.9 人/ha	38.1 人/ha

### ②公共施設の集約・複合化に関する目標値

引き続き、管理運営の効率化を図るため、公共施設の集約・複合化を進め、1人当たりの公共施設の削減を目標とします。

また、始良市役所本庁や各支所の公共施設の集約・複合化に引き続き取り組むことで、利用率を向上させることを目標とします。

項目	当初計画 平成 31(2019)年 現況値	改定時点 令和 7(2025)年 現況値	目標年次 令和 21(2039)年 目標値
公共施設の1人当たりの延床面積	4.01 m <sup>2</sup>	4.07 m <sup>2</sup>	3.42 m <sup>2</sup>

項目	当初計画 平成 31(2019)年 現況値		目標年次 令和 21(2039)年 目標値
	始良市役所本庁	加治木支所	蒲生支所
公共施設の利用割合	32.6%	17.4%	60%
		7.7%	30%

**③地域公共交通の利用者に関する目標値**

地域公共交通の人口カバー率上昇を目標とします。

また、市民の公共交通の利便性を維持していくため、路線バスのほか、コミュニティバスやデマンドタクシーの利用者数を維持していくことを目標とします。

項目	改定時点 令和7(2025)年 現況値	目標年次 令和21(2039)年 目標値
地域公共交通の人口カバー率	95.9%	98%
コミュニティバス等利用者数	41,933人	41,933人

**④目標値を達成することによる期待される効果**

住みやすさの満足度90%以上を維持していくことを目標値とします。

項目	改定時点 令和7(2025)年 現況値	目標年次 令和21(2039)年 目標値
住みやすさの満足度	91.9%	90%以上を維持

### 3. 計画の評価方法

立地適正化計画は、長期的なまちづくりの計画であることから、目標年数を概ね20年後に設定していますが、社会情勢の変化や国の事業制度等に対応するため、概ね5年ごとに計画の評価を行い必要に応じて以下のPDCAサイクルに基づき見直しを行います。

また、見直しにあたっては、令和7(2025)年度から国が提供する「まちづくりの健康診断」を踏まえて、施策の効果検証や近隣自治体や同規模の自治体との比較を行いながら、効果的な施策の見直しを実施し、より実効性の高い施策の展開に努めます。

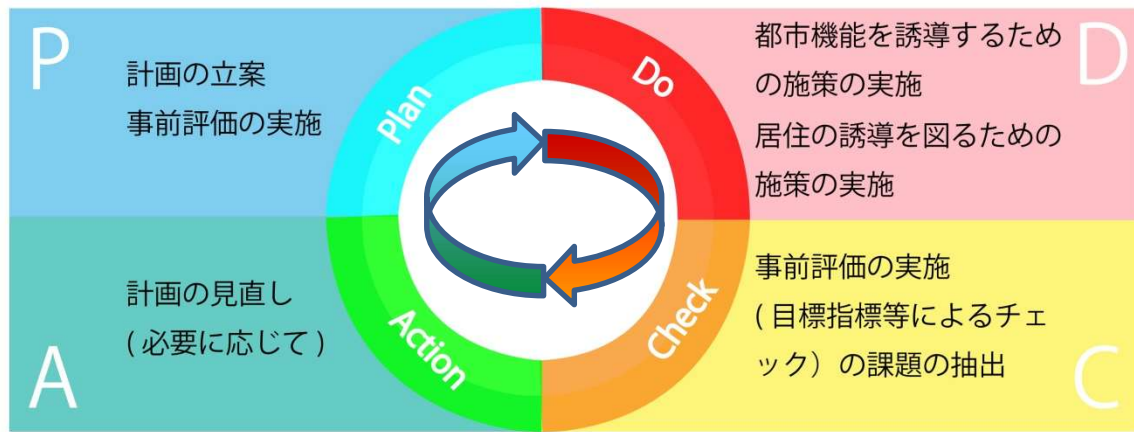


図 PDCAサイクルに基づく見直し

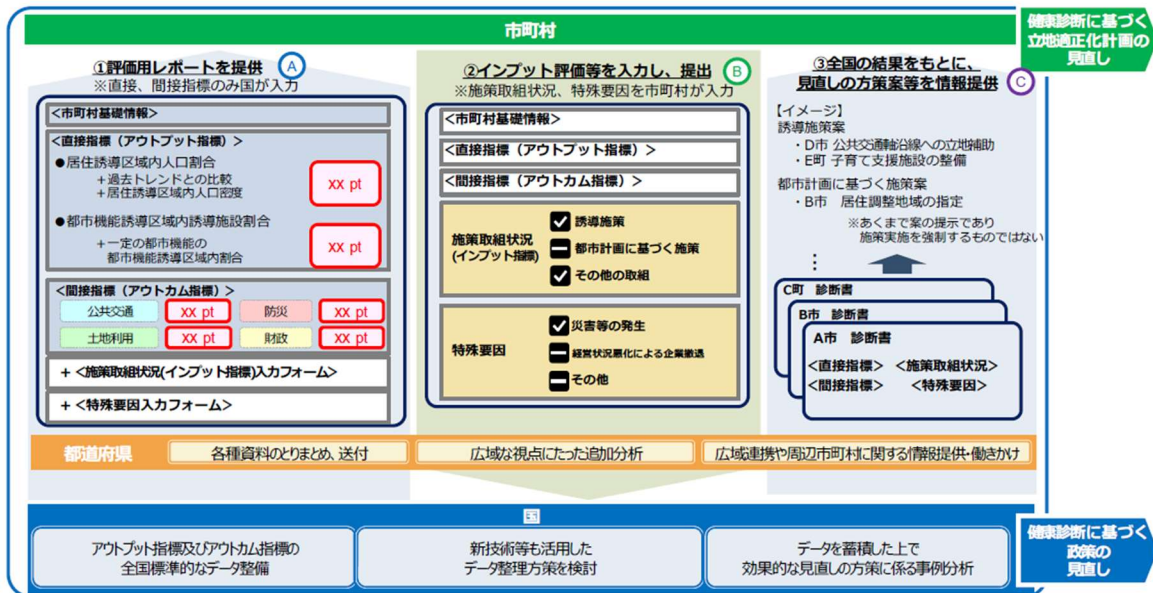


図 まちづくりの健康診断のイメージ

出典：国土交通省